

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書(要件1)

2025 年 6 月 27 日

住 所 愛媛県松山市一番町 3-3-3
菅井ニッセイビル 6 階
企業名 日本テクノ 株式会社 松山営業所
代表者 小野 博史

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

2016 年、電力小売りの全面自由化にともない、大手電力以外にも新電力で電力の供給ができるようになりました。日本テクノでも電力小売りの拡充に向けて、固定単価型料金プランや市場連動型プランに加え、「環境市場でんき」(非化石証書付き CO₂ フリー)を新たに加えました。このプランは、実質的に二酸化炭素排出量がゼロ (CO₂フリー)の電気が供給できるという環境価値のある仕組みです。電力事業がこれからも環境・社会のインフラやエネルギー・気候変動の重要な課題であることを認識し、次世代に対しても責任を持ち、サステナブルな社会の発展に寄与していきます。

3側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組み	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:R4年 3 月 25 日
環境 社会 経済	脱炭素社会と循環 型社会構築に向けた 取組み	電気の見える化商品によるコンサルテ ィングを加速。市場価格の上下によ る、生産性デマンドレスポンスの効率 を上げ、柔軟な働き方に貢献。	2024 年度実コンサルティング 実績 100%(年一回)
環境 社会 経済	電気保安のスマート 化・安全かつ安定した インフラの構築	月次点検にデジタル化(遠隔化)を加 え、お客様の高圧受変電設備を 24h、 365 日監視し、安心・安全なまちづく りに貢献。 整備作業ミスに起因する事故件数0 件目標。	監視センターにて遠隔での 監視を常時実施。 整備作業ミスに起因する事 故件数 0 件継続中。
環境 社会 経済	社内の環境・CSR マネ ジメントシステムだけ でなく幅広いステーク ホルダーとともに持続 可能な社会の実現へ	地球温暖化をはじめとした環境問題 や社会課題をテーマに、季刊誌の発 行を通じて、社内外サステナビリティ に対する認識の向上。	季刊誌の発行

【記載留意点】

・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重

点的な取組」を記載してください。

- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。